

ピアサポート活動 『あなたの元へ、元気を届けに行きます』

ピアサポート活動は、認知症と診断された人同士が寄り添い、支え合う活動です。ピアサポートは大きく3つの種類があります。

01 個別のピアサポート 「同じ認知症だからこそ、心を通わせ合える時間」

ピアサポーターが、認知症と診断されて間もない人や、引きこもりがちで孤独を感じている人の自宅等を訪問し、当事者同士で会話をします。専門家や支援者とは違う「当事者同士」だからこそ、共感し合える深い対話があります。ピアサポーターと話してみたい時は、長寿福祉課やケアマネジャー、地域包括支援センターにご相談ください。

02 集まれる居場所づくり 「仲間と笑い合える安心を感じてほしい」

前ページで紹介した「本人ミーティング」にはピアサポーターも参加し、認知症の当事者が自由に集い、交流できる居場所づくりを行っています。

03 地域づくり 「地域みんなで、認知症とともに生きる日田市へ」

認知症は、特別な病気ではなく、誰もがなり得る病気です。ピアサポーターが講演活動などを通じて、認知症になっても自分らしく生き生きと暮らす姿を直接伝える活動を行っています。



土屋 さん

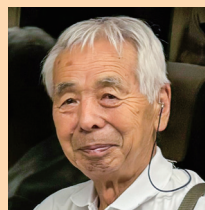
「認知症であることは恥ずかしいことじゃない」、「ほかの人の助けになる」ということを伝えたい。家族の応援が一番大切と感じているから、認知症の人のご家族にもこの活動を知ってもらい、是非活動への参加の後押しをしてほしい。



ピアサポーターからの メッセージ

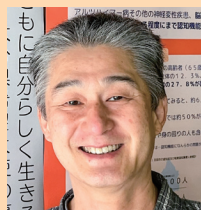
後藤 さん

けがをして入院中だが、過去に活動していた写真を見ると「僕こそやらなきゃ」と思う。認知症があり、けがをした僕だから伝えられること、勇気を与えられる人がいると思う。



下田 さん

僕は現在週3回仕事をしており、それが楽しになっている。今引きこもっていたり、外に出るのが億劫になっていたたりする人はきっかけが大切。外に出れば、人と出会って楽しいことに巡り合えることもある。そのきっかけの一つにピアサポーターを頼ってほしい。



イベントのお知らせ

オレンジリングはサポーターの証！



認知症サポーター養成講座

認知症になっても、安心して生き生きと生活できるまちをつくるためには、家族だけでなく、地域で暮らす人が認知症への理解をもって互いに支え合うことが大切です。

“認知症サポーター”とは、認知症について正しく理解し、当事者とその家族を温かく見守り支える「応援者」です。たくさんの人にサポーターになってもらえるように講座を定期開催しています。子どもから大人まで、幅広い年代の参加をお待ちしています。

開催方法

- 定期開催
令和8年度は9月以降に3回開催予定です。日程等は広報ひたや市公式SNSでお知らせします。
- 皆さんからの依頼による開催
10人程度が集まる自治会・職場・学校・サークルなどのグループに合わせて講座を開催します。開催を希望する場合は、希望日の1か月前頃までに長寿福祉課にご連絡ください。

講座の概要

- 受講時間 1時間30分
- 受講料 無料
- 内容
 - ・認知症の基礎知識（原因や症状など）
 - ・当事者の気持ち
 - ・当事者の尊厳を守り対応するにはどうすれば良いのか など



講義、当事者や家族のお話、「劇団あやめ」の劇など、受講する人に応じた内容構成としています。受講者には認知症サポーターの証である「オレンジリング」をお渡しします。

市民公開講座「認知症を『我がこと』として」

認知症を正しく理解するための講話、ピアサポーターが登壇しての座談会などを開催します。

第1回

とき 9月10日(木) 午後1時30分～3時30分
ところ 大山文化センター

第2回

とき 11月17日(火) 午後1時30分～3時30分
ところ パトリア日田 小ホール

※第1回・第2回ともに同じ内容です。

- 内容
 - 第1部「認知症の理解やMCI（軽度認知障害）について」
 - 第2部「当事者との座談会」
 - 第3部「私の想いカード説明」
- 申込方法 電子申請（右記二次元コード）、電話のいずれかで下記に申込み



問 日田市西部地域包括支援センター ☎0036